

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105180
法人名	(株) メディクス
事業所名	グループホームパートナーハウスすずらん
所在地	松山市高井町1296-1
自己評価作成日	平成23年6月2日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

個々の思いや意見を大事にし、今までの生活スタイルをなるべく崩さない様支援している。また利用者の方々、職員みんなの笑い声が聞こえてくるようなホームであるよう、日々頑張っております。
シーズー犬のゆう太がセラピー犬としてみんなの癒しとなっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所の周囲は田んぼも多く残り、季節を感じながら散歩を楽しまれている。近くの公園に散歩に出かけたり、春には公園でお花見もされた。双海町にアジサイを見に行ったり、菖蒲園等、季節の花を見にも出かけておられる。出かけた先で焼きとうもろこしを買って食べたりすることもある。外出先は事前に職員が下見されて、トイレの環境や車いすの方でも安全に過ごせるか等を確認しておられる。ショッピングセンターでお茶を楽しまれたり、流行りのファッション等も見て楽しまれた。調査訪問時、今月誕生日の利用者は、ご家族と高知県に旅行に行っておられた。調査訪問時、パンの移動販売が来て、職員と一緒に買いに出る利用者の様子がみられた。好きなパンを選んで買っておやつ等にされるようだ。
近隣の、4グループホームで協力して、自作のストーリーを考え、保育園に「認知症のおじいさん」という人形劇を披露された。小さな子ども達にどうしたら、認知症のことを分かりやすく伝えられるかを考え、「子どもたちに馴染みのキャラクター」を登場させる等工夫をされた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームパートナーハウス すずらん

(ユニット名) もみじ

記入者(管理者)

氏名 布施 千秋

評価完了日 23年 6月 2日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共 有して実践につなげている	(自己評価) < 運営理念 > ・ 利用者の人格と価値観の尊重 ・ 利用者の自己決定の尊重 ・ 安心と意欲もてる自立生活への支援 ・ 家族、地域社会との交流支援。と掲げている ・ 「あるがまま」を笑顔で支える家族と共に 共に	
			(外部評価) 朝礼時に、管理者は、事業所の理念に基づき、「笑顔」で対 応することを、職員に話しておられる。又、職員で作成した 目標を職員用トイレに掲示されて、個々が自分自身を振り 返るようにされている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられ るよう、事業所自体が地域の一員として日常的 に交流している	(自己評価) 回覧板をまわしたり、ゆう太の散歩時に近所の方と会 話をしたり溝掃除や公民館の掃除に参加して交流をし ている	
			(外部評価) 事業所で行う、敬老会やクリスマス会時には、保育園児が来てくれ て、歌を聞かせてくれたり、又、職場体験に中学生が来られ、利用 者とおしゃべりされる等、子ども達と利用者が交流する機会もあり、 普段はあまり笑顔を見せないような利用者も子どもの前では、素敵 な笑顔を見せてくれるようで、「子ども達が利用者にもたらす効果 は大きい」と管理者は話しておられた。秋祭りの際には、神輿に 入ってもらったり、公民館の清掃等の自治会の活動に参加されたり、 地域の夏祭りの際には、事前に公民館で地域の方達と一緒に 盆踊りの練習もされた。夏祭り当日は、事業所用に座席を用意し て下さり、踊りを見たり、輪に入って踊ったりして地域の方と交流さ れた。又、事業所の納涼祭時には、地域の方達も引き一緒に楽し んでおられる。近隣の、4グループホームで協力して、自作のス トoryをを考え、保育園に「認知症のおじいさん」という人形劇を披 露された。小さな子ども達にどうしたら、認知症のことを分かりやす く伝えられるかを考え、「子どもたちに馴染みのキャラクター」を登 場させる等工夫をされた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知 症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に 向けて活かしている	(自己評価) ・同系列(かたれあ、こすもす、なでしこ)と、4施設合同の納 涼祭を開催している。公民館にて認知症について地域の方 職員が参加し話し合いを行った。また人形劇で保育園の園 児に認知症のおじいさんの話をみもらった	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 利用者の活動状況などを報告し外部評価の結果等も報告している</p> <p>(外部評価) 会議では「認知症」「災害」「終末期の迎え方」についての講義等、テーマを決めて案内する等、一人でも多くの方に参加していただけるよう工夫をされている。出欠については、電話で連絡をいただけるようになっており、欠席する人ともお話をされている。母体法人の部長が講師になり「認知症ケアサポート養成講座」を公民館で開催した際には、町内会長からも地域の人に声をかけていただけて、多くの参加があり、さらに、町内会長が司会進行をしてくださった。仕事のご都合もあり会議に参加が難しいご家族や、会議形式を敬遠される地域の方も多く、参加いただける方は現在は少ない目となっている。</p>	<p>地域のいろいろな立場の方やご家族の方が参加しやすい開催日時や、気軽に参加していただけるような議題の工夫等を重ねていかれ、いろいろな立場の方に事業所のサービスを知っていただき、感想や意見をお聞きしながら、サービスの質の向上につなげていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 公民館、支所などを通じ、地域にあるサービスや行事などの助言等ももらっている。運営推進会議の時も色々助言して頂いている。</p> <p>(外部評価) 地域包括支援センターでの勉強会に参加されたり、近隣のグループホームと話す機会も作っておられ、悩みごと等を相談されたり情報交換をされている。運営推進会議時、食中毒や熱中症に注意するようにアドバイスをいただいたり、保育園で披露した人形劇のビデオを見ていただいた際には、「続けてほしい」と感想をいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ホームでの話し合い、勉強会への参加、マニュアル作成等で身体拘束について理解している。</p> <p>(外部評価) 「久方に帰りたい」とよく言われる利用者の方がおられ、職員と砥部の山まで出かけて、ゆっくりご本人のお話をお聞きしたり、山を見たり、車の往来を見ながら過ごされ、ご本人の気持ちが落ち着き、ご本人がホームに帰りたくなくなった様子が見られたら、帰るよう支援されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止の勉強会に参加し、ミーティング等にて情報共有を図るよう努めている。 マニュアル作成している。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) ・社内研修にて成年後見制度について学んだ ・成年後見制度を利用される方に対し関係者への連絡調整をおこなっている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者、家族が十分に納得できるまで個別に誠意をもって対応にあたっている。また不明な点等あれば、いつでも相談にのっている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱の設置や、苦情等があれば、すぐに職員及び管理者が誠意をもって対応、対処するよう努めている。また、入所の際ホームの苦情相談窓口及び第三者機関相談窓口(松山市介護保険課など)の連絡先についても説明している。	
			(外部評価) 毎月発行されている「すずらん便り」に、利用者個別に近況や体調を記入する欄を設け、職員が記入して写真も同封して送付されている。居間には、職員の顔写真と名前を貼っておられ、ご家族の方が来られた時に見られるようにされている。ご家族の来訪時には、ケア等について意見や要望等を聞き取るようにされており、ノートに記入して全職員で共有されている。「入れ歯の調子を見てほしい」等の個別の要望が多いようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 一方的ではなく、職員の意見に耳を傾け一緒に話し合い協力しあう姿勢で対応している。	
			(外部評価) 毎月ミーティングを行っておられ、事業所全体の会の後に、ユニットごとに話し合うようにされている。ミーティングは、職員全員が発言する仕組みとなっており、利用者のケアや対応、取り組み等についての意見が出されて、ケアの統一を図っておられる。夜間大きい声を出す利用者の方がおられ、職員の精神的負担について意見が出された時には、ご本人のかかりつけ医とも相談しながら、服薬等も含めて改善に向けて検討がなされた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 勤務状況、実績など、定期的に把握されており、経験に応じた研修の受講を積極的に行えるよう取り組んでいる。また、才能を発見し強化している。	
13		職員を育てる仕組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 勉強会への参加や資料作成などで情報共有を図り、能力向上に努めている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 他のグループホームへの定期的な勉強会や交流会、同系列の(かとれあ・こすもす・なでしこ)等との行事を交えた交流会などを行っている。また、4施設合同<運営会議>にての勉強会を行っている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) できる限り話をする機会を設けて、気持ちを受けとめる様努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) いつでも相談しやすい雰囲気をつくり、相手の気持ちをくみ取りながら一緒になって取り組んでいく努力をしている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居者本人と家族の希望、要望をふまえた上でどのようなケアプランが必要なのか話し合うようにしている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 入居者に詩吟やカラオケなど、得意としていた分野について話しをしながら一緒に実施することで、職員は学んだり、アドバイスを受けたりしている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 本人の状態についての情報を共有し、行事や来所時等に話しをするなど、本人への支援方法などについて話し合っている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 自由な面会時間や気楽に尋ねてきやすい雰囲気作りに配慮している。生まれ育った所に行きたいときにはいけるようにしている	
			(外部評価) ご自宅に定期的に戻ることを支援されている方もあり、その際にご兄弟に会ったりされている。利用者がお若い頃利用していた散髪屋の話がきっかけで、職員はその散髪屋を探してみられ、連絡が取れて利用することにつながった事例がある。散髪屋は代替わりしていたようだが、奥さんが利用者のことを覚えてくださっており、お話しもされたようだ。ご自宅で長い間犬を飼っていた利用者は、事業所の犬をご自分が飼っている犬だと思っておられ、大事にされており、犬も大変なついでにしているようだ。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) ホールにて同じテーブルに座る人の位置を配慮したり、いろんな話題を提供するなど、声かけをおこなっている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退居された後でもいつでも遊びに来れるような雰囲気を作っている。	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 意思疎通が図れる場合は、本人、家族と話し合い意見を尊重している。意思疎通が困難な方は、何を求めているかを察知できるよう、職員同士話し合い等行い日々努力している。 (外部評価) 就寝前や入浴時等、職員と一対一で、ゆっくり話しを聞くようにされている。「コンニャクが便通に効果がある」という健康番組を見た利用者が、ご自分でコンニャクを使った料理を作り、食べておられる。縫い物が得意で事業所で使う雑巾を縫って下さったり、ミシンでご自分の洋服の袖口を直したりする方もいる。事業者に飾ってあるお花をスケッチされる方もいる。描きためた絵は、ご本人と相談して、利用者個々の誕生日のお祝いのカードに使わせていただくことにされていた。事業所独自のアセスメントシートを作成されており、ご本人の写真と既往歴・習慣・好き嫌い・性格等の項目ごとに記入をして、利用者個々の情報が集められている。新人職員も目を通して利用者のことを知ってから、かかわるようにされている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居の際、家族または本人に情報を得ている。また意思疎通が難しく、家族のいない方の場合、入居前の施設等から情報を得ている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員全員が把握し状況に応じて対応にあたっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	(自己評価)	
			<p>個々人の状況に応じ、本人及び家族と話し合い計画を作成するよう努めている。来訪時には、近況と共に家族へケア内容等の説明を行っている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>介護計画は、ミーティング時に職員で話し合い、管理者が作成され半年ごとに見直しておられ、状態に変化があった場合は、その都度見直しされている。管理者は、ご本人の思いを叶えられるようなプラン作りに心がけておられる。毎月のミーティング時にモニタリング、評価を行っておられ、「以前は～だったが、今は～なっている」というように、個々の状態の変化を見守っておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>毎日介護記録を記入し、また別に職員間の連絡ノートにて情報を共有している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>本人、家族の要望に対して、その都度柔軟な対応を行っている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>本人、家族の要望に対して、その都度柔軟な対応を行っている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>避難訓練、地域行事の参加、地域のボランティアなど、積極的に参加している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	(自己評価)	
			<p>避難訓練、地域行事の参加、地域のボランティアなど、積極的に参加している。</p>	
			(外部評価)	
			<p>避難訓練、地域行事の参加、地域のボランティアなど、積極的に参加している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 本人及び、家族の希望する医療機関へ適時受診できるよう支援している。	
			(外部評価) 入居時に、かかりつけ医についての希望をうかがい、現在は、全員が往診に来てくださる協力医で診てもらっている。看護師資格を有する職員が健康管理をされており、健康状態に変化があった時や、受診が必要な場合は、ご家族に連絡をして状態を説明されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 個々に応じて看護職員に相談、協力しながら対応にあっている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院された際、定期的に面会を行い洗濯物等の交換を行い、ドクターあるいは、看護師と情報交換を行い早期退院等に努めている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 必要に応じ、終末期については家族や医療機関また職員等で話し合っている。運営推進会議にて看取りについて話し合った	
			(外部評価) 入居時には、ご家族に「最期についてご本人が今までに言われていたことはないですか」とお聞きしている。運営推進会議時、「終末医療・最期の迎え方」をテーマに、利用者の方から「最期はどうしたいかという想い」を話され、ご家族の方は「父への想い」を話された。ご家族からは「本人の考えが聞けてよかった」と感想があった。入院されたが、ご家族から「ホームでの生活に戻してあげたい」という希望があり、事業所ではプリンやアイスクリーム等、のど越しがよく、好きなものを食べていただけるよう取り組まれている。調査訪問時、栄養剤のエンシュアキッドでプリンを作ってみることを考えておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	ほとんどの職員は応急手当の講習をうけており、また急変時対応マニュアルを作成している。
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	地域の方々の協力を得、避難訓練を実施、運営推進会議による町内会との連携体制等、日頃から働きかけを行っている。
			(外部評価)	今回初めて、日中、2階からの出火を想定した避難訓練を実施された。職員が利用者役にもなり、布団を使って2階から避難させる訓練を行われた。利用者は職員で作った防災頭巾をかぶり訓練されたが、消防の方からは、「防災頭巾をかぶるのは避難してからにして、とりあえず逃げた方がいい」と意見をいただいた。又、「日頃から、近所の方に声をかけておくように」「大声で外に叫ぶ」等のアドバイスもいただいた。カーテンや廊下のスクリーンカーテン等は、防災加工された。震災を教訓に、防災士の方と相談しながら、備蓄の準備もすすめようとしている。運営推進会議時、地域の方達にいざという時は「事業所を避難場所として使ってほしい」と話された。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	記録等の個人情報は事務所の鍵付きの棚で保管しており、職員による個人情報の秘密保持も徹底している。入居者への言葉かけも相手の立場に立った気持ちで対応するよう心がけている。
			(外部評価)	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	わかりやすく、ゆっくりとしたペースでお話しし、自己決定を尊重しながら、生活の支援を行っている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 無理強いせず、本人のしたい事を取り入れながら、支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人、家族の希望にて、理美容(カット、髭剃り等)美容師に訪問してもらい実施している。洋服など本人の好みに合わせて、一緒に購入するようにしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備等は一緒にできる方があまりいらっしゃらない	
			(外部評価) 業者から届いた食材で、その日の担当職員が各ユニットで調理されている。メニューは決まってはいるが、届いた材料をアレンジして別のメニューに変わることもある。誕生日の日には外出に出かけたり、月1回は、たこ焼きやお好み焼き等、利用者の食べたいものを作り、利用者には喜ばれている。誕生日は、職員がケーキを焼いてお祝いをされたり、母の日には、おはぎ作りをされた。利用者は、豆のスジ取り等の下ごしらえをしてくださったり、包丁を研いでくださる方もおられる。調査訪問時には、ジャガイモの皮むきをしておられる利用者がおられた。一度にたくさん食べると、吐いてしまうような利用者もあり、主治医と相談して、現在は、5回に分けて食事を摂れるよう支援されてる。食事の時間は、各テーブルに職員が一名座り、同じものを食べながら利用者に声をかけておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの食事量、水分量の把握に努めている。バランス良く栄養摂取できるよう、食事の形態、量について常に検討し、必要に応じ主治医の意見を聞いている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 夜間は確実に実施できているが、毎食はできていないこともある。食物残渣はないか、また服薬後の確認等はおこなっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			個人に合わせ、プライバシーを配慮しながら排泄パターンを把握し対応している。	
			(外部評価)	
			利用者個々のタイミングに応じて、職員が声をかけてトイレに誘導されたり、ご自分でトイレに行く方は、いつも行く時間に行かれなかった時、声をかけるようにされている。利用者がトイレを使用した後に確認できるよう、トイレのドアに鈴を付けておられる。トイレに芳香剤を置く等して、臭いにも気を付けておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			毎日の食事になるべく多くの野菜を取り入れる。1日1000～1500の水分補給を促す。看護師による腹部マッサージ実施。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			無理強いせず、本人の希望を聞きながら入浴していただいているが、最低週2回以上は入っていただくよう支援している。	
			(外部評価)	
			1階には、一般的な浴槽と椅子に座った状態で温まれる浴槽が設置されている。同姓介助を希望する利用者には応じておられる。入浴を嫌がる利用者には声かけを工夫されたり、職員が交代して誘ってみる等されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			本人の希望により、休んでもらうようにしている。また、夜もテレビをみたりと個人のペースでしてもらっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりの現在使われている薬を分かるように記載している。また薬の効能書きをファイルにとじ副作用等が分かるようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 入居者同士が楽しく会話できるよう環境づくりをしたり、散歩をしたり、おりがみ、壁画作成などをしていただいている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天候がよく体調のよい時は、散歩、外気浴ができるよう努めている。	
			(外部評価) 事業所の周囲は田んぼも多く残り、季節を感じながら散歩を楽しまれている。近くの公園に散歩に出かけたり、春には公園でお花見もされた。双海町にアジサイを見に行ったり、菖蒲園等、季節の花を見にも出かけておられる。出かけた先で焼きとうもろこしを買って食べたりすることもある。外出先は事前に職員が下見されて、トイレの環境や車いすの方でも安全に過ごせるか等を確認しておられる。ショッピングセンターでお茶を楽しまれたり、流行りのファッション等も見て楽しまれた。調査訪問時、今月誕生日の利用者は、ご家族と高知県に旅行に行っておられた。調査訪問時、パンの移動販売が来て、職員と一緒に買いに出る利用者の様子がみられた。お好きなパンを選んで買っておやつ等にされるようだ。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 現在 ご自分でお金を管理している方は、1名いらっしゃる。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人希望時、電話をかけてもらったり、家族、友人からの電話は引き継ぎを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共有空間はすべて家庭的な雰囲気であり、また常に季節の草花を生けるなどしている。	
			(外部評価) 玄関には、アジサイの花を生けておられた。居間の壁には、折り紙で作られたアジサイの花や、ティッシュで作った、てるてる坊主を吊っておられた。居間には、利用者が見たい番組を楽しめるように、テレビが2台設置されている。居間のテーブルの座席は、利用者の性格等を考慮して決めておられ、それぞれが落ち着いて過ごせるような環境に努めておられる。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファを置き、くつろげる空間を確保している。	
			(外部評価)	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 個々人によって生活用品を持ち込まれている方もおられるが、身寄りのいない方、また病院生活が長く、そのまま入居となった方は衣類と衣装ケースのみである。	
			(外部評価) ご家族と一緒に撮った写真や、誕生日に贈られた写真入りの飾りを大切に貼っておられる方もいる。使い慣れたタンス、机、椅子、姿鏡を持ち込んでいた方もみられた。ご家族からのメッセージや、ご家族との旅行の日程を貼っておられる方もいる。ものを片付けてしまうような利用者の居室はシングルで、カーテンも外されるので、夜間は突っ張り棒に布をかけてカーテン代わりにされていた。琵琶を教えておられた方は、楽器の琵琶を持ち込んでおられた。大工仕事が好きな方は工具を持って来られており、写真を飾る場所等を作られた。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下には、すべて手すりが付いており、トイレのスペースも広く、すべてがバリアフリーになっている。車イスの方でもゆったりと湯船につかれるよう、機械浴を設置している。	
			(外部評価)	